



2025年3月18日

各位

会社名 株式会社Macbee Planet
代表者名 代表取締役社長 千葉 知裕
(コード番号：7095 東証プライム)
問合せ先 執行役員 経営管理本部長 川上 昂士
(TEL 03-3406-8858)

成果報酬型広告の分析ツール『Rigel Crawl1』リリースのお知らせ

当社は、消費者の購買行動において特に重要となる「比較・検討段階（ミドルファネル）」の効果的な対策を目的とした新たな分析ツール「Rigel Crawl1（リゲルクロール）」（※特許出願中）を、本日より提供開始しましたので、お知らせいたします。

記

1. 新サービス提供の背景

近年、消費者は商品・サービスの購入前に必ずといってよいほど「比較・検討」を行うようになっており、ランキングサイトや口コミ情報を参考に選定するケースが増えています。当社が2025年1月に実施した調査によると、「購入前に比較する」のは95.30%になり、さらに「比較・検討中に初めた知った商品を実際に購入したことがある」人は83.10%にもなることが明らかになりました。

このように、ミドルファネルでのアプローチが売上に直結する傾向が明確になったものの、これまでランキングサイトでの分析環境が曖昧、かつ、そこに対する打ち手の振り返りも十分な状況ではありませんでした。そこで当社では、ミドルファネル環境を多角的に分析し、成果報酬型広告における最適な施策を打ち出すことを目的とした分析ツール「Rigel Crawl1」の提供にいたしました。



2. 「Rigel Crawl」の特長

本ツールの提供に際し、①IRS、②SRS、③MRS という 3つの独自スコアリングを開発しています。

①IRS (インプレッションランキングスコア)

Google/Yahoo の検索結果や広告枠、ランキングサイトなどでの“露出状況”を数値化し、自社のインプレッション量を可視化することで、ユーザーの目に留まっている度合いを把握できます。

②SRS (サイト内ランキングスコア)

第三者メディアやランキングサイトにおける“掲載順位”を評価。ユーザーが目にするランキング上で自社がどの位置にいるかを定期的に測定し、順位改善の打ち手を検討します。

③MRS (マーケットランキングスコア)

業界全体の検索トレンド、競合他社の出稿状況や平均報酬単価などを一元的に数値化。自社の投資対効果や市場シェアを俯瞰することで、費用対効果を高める戦略的判断が可能。

これら 3つのスコアリングを活用し、不透明だったミドルファネルを“見える化”することで、確実に比較・検討段階のユーザーを獲得する体制を構築します。具体的には、競合環境の CPA、CVR、承認率を調査した上で必要条件を整理し、メディアごとのランディングページの最適化を実行することで最適なコンバージョン導線を設計。また、比較優位性を確保するためのプロダクト変更の提案も行い、成果報酬型広告の効果を最大化します。

3. 今後の展開

今後は、「Rigel Crawl」のさらなる機能拡張や、AIによる予測分析を組み込んだ IRS/SRS/MRS の高度化を進め、企業の認知拡大から購買獲得までを包括的にサポートし、ミドルファネル攻略による広告の ROI 向上に努めてまいります。

4. 業績への影響

本ツール提供開始による今期以降への影響は軽微ですが、今後、業績への重大な影響が認められる場合には速やかにお知らせいたします。

以 上